

第 19 回地域シンポジウム報告に代えて

日本環境共生学会事務局 森下 英治(愛知学院大学)

平成 28 年度は、九州大学において「災害、環境と経済」をメインテーマとした地域シンポジウムと総会を予定し、九州大学の馬奈木先生、加知先生を中心に準備を進めて頂いた。しかし、4月14日と16日の震度7の2度の大きな地震と多くの余震による震災対応のため、予定されていたパネリストの皆さんの参加が困難となり、準備委員会のご提案により、熊本地震視察を行い、その後、従来通り総会を行うことになった。

地震視察については、甚大な震災被害を受けてから震災後一カ月半ほどしか経過していないため、地元住民の皆さんに迷惑がかからないよう、また、余震が続いている中であり、参加者の安全に配慮した。

以下、視察の日程、場所について報告する。

実施は、2016年6月4日8:00~14:30で、博多駅近くの「ホテルセントリーザ博多」のロビーに集合し、出発した。参加者は、準備および案内をして頂いた九州大学塚原先生他17名で、雨が降ったり止んだりする中、小型の観光バスで移動した。

行程は、博多駅近辺出発→益城 IC→①グランメッセ(避難の車とテントが展開している場所)→県道36号、県道232号、県道28号(被災家屋が集中している地域)を車窓から見学。②県道28号と九州自動車道のところでいったん下車し、高速道復旧工事を見学→国道443号、国道57号、県道339号、県道298号、県道149号経由で③阿蘇大橋崩落地点の見学→福岡(九州大学工学部)帰着であった。

九州大学に到着後、理事会・評議委員会、通常総会、学会賞授与式、懇親会が行われた。



地図中②の地点での高速道路復旧工事現場。橋脚は阪神淡路大震災後の補強で壊れていない。



地図中②から③に移動する途中の豊肥本線の踏切。復旧の目処が立たないためか線路上を舗装。



地図中③の阿蘇大橋崩落地点。東側から撮影。写真左上の標識は、200m先右折で大分、左折で熊本を示す。



地図は GIS・国土の情報(<http://www.gsi.go.jp/gis.html>)より

図 主な視察場所